

事務事業評価シート(平成21年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		こども未来 課	越川昌信	高見隆一
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
環境体験、自然学校事業		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H20以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 1 のびのび育とう、育てよう	
	個別計画	(基本計画) 学校教育の充実		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
兵庫県教育委員会補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的的事业	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
心身共に調和のとれた健全な児童の育成のため、また、自然に対する畏敬の念をはじめ、命の大切さ、命のつながり等を実感させるとともに、美しさに感動する豊かな心を育むため、豊かな自然環境の中で集団生活を通じて、自然とのふれあいや人とのふれあいを体験する。		補助金の支給	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
		<input type="radio"/> 委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象(働きかける相手・誰が・もの)	受益者(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
小学校3.5年児童	左記対象者	環境体験、自然体験・長期の宿泊訓練等を通して、規範意識や思いやり、命の営み大切さ等の心を養う。

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>		会計名	一般	会計
細目名	教育指導事業	細目名		
予算コード	款 10 項 1 目 3 大 1	予算コード	款	項 目 大 事業

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	20年度 決算	21年度 実績(見込)	22 年度 計画	備考 (全体事業費など)
総コスト		千円	8,830	8,186	8,392	
コストの内訳	直接事業費		7,818	7,174	7,380	
	所属内間接費					
	人件費	1,012	1,012	1,012		
投入人員	正職員 嘱託員	人/年	0.11	0.11	0.11	
財源内訳	国・県支出金	千円	3,086	3,587	3,690	
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		5,744	4,599	4,702	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務	手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 見込	22年度 目標	
1 実施計画書の作成	各事業実施校による	随時	月	4月中旬	4月下旬	4月下旬	
2 補助金申請事務	補助金交付申請・請求手続きによる	随時	月	随時	随時	随時	
3 事業実施	各事業実施校による	随時	月	随時	随時	随時	
4 実績報告業務	補助金交付申請・請求手続きによる	事業終了時早急に実施	月	随時	随時	随時	
5							

(ソフト事業) (B面)

事務事業名 [環境体験、自然学校事業]

6 事務事業の実績 <Do③>		20年度実績	21年度実績(見込)	22年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位				
県自然学校評価検証委員会の方策の該当数	個	30	30	40	事業の一層の充実を図るための方策(6方策)

7 事務事業の事後評価 <Check>		(ソフト事業)				担当の把握している課題
チェック項目		該当項目に「○」				
必要性	需要への対応性	住民ニーズは	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない		把握なし
		緊急性は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	利用者・対象者数は		増加	減少	<input type="radio"/> 横ばい	
	他市町と比較して対象者に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		把握なし	
町の関与の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	国や県の事業(サービス)との重複は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
妥当性	サービス水準の妥当性	事業開始時から社会環境の変化は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		把握なし	
	連携の可能性	他課で類似の事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
他の事業と統合できる可能性は		<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		あるが困難	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		受益者負担を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
有効性	目標の達成度	成果指標が明らかで	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		前年より成果が上がって	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない		横ばい
	持続の可能性	継続することによる効果は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない		測定困難
市場化の可能性	既に全部委託済	更なる委託化が可能である		委託化の余地があり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	市場化テストの導入について検討する余地がある			市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		1.改善の余地はない		<input type="radio"/> 2.改善の余地がややある		
		3.改善の余地が多い			4.抜本的な見直しが必要	

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action> 環境体験、自然学校事業

職場からの意見(担当者)									
<p>(課題の解決についての提案など)</p> <p>各学校で事業目的にあった計画を立て、補助金要綱に定められた内容で事業を実施している。予算的には、保護者負担分については改善の余地はなく、利用施設の選択、プログラムの工夫で効果を下げず費用の削減を行う。</p>									
担当課長評価									
<p>(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>自学自習型のプログラム開発を進めながら、自然体験、自立訓練等への活動充実を図り、体感的理解が深まるように見直しを進める。</p>									
所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	内部評価		3
教育長評価									
<p>(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>自然学校、環境体験学習も意義のある活動であるので、現状のまま継続していく。</p>									
事業評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了			
評価委員コメント									
<p>現状を維持していただきたい。</p>									